



白聖はくあ 第6号 令和3年10月1日発行



【進路行事について】

《卒業生による進路ガイダンス 8月19(木)》

大学や学問の魅力・入学前に必要な心構え・高校時代の生活等に関する話を伺い、進路決定の指針や学習の参考にして意識を高めるために、1・2学年を対象として東北大学に在籍する本校卒業生（68・69・70回生）によるオンライン講演会を実施しました。

- ・文系コース（法、文、経済）
- ・理系コース（医、理、工）



- 【内容】・全体講義、志望理由、大学生活について、在校生へのアドバイス等
- ・共通質問（研究テーマ、部活動と学習の両立、不得意科目の克服法、モチベーションの保ち方など）

【考査の振り返りをしよう】

2学期中間考査が終了し、2学期始めに実施した実力テスト・校内模試から約1ヶ月が経ちました。試験や考査で大切なことは、その時点での自分の強みと弱点を把握し、今後の改善のために役立てることです。

そもそも、私たちはどうやって物事を覚えているのでしょうか？この仕組みに関わるのが、「短期記憶」と「長期記憶」です。短期記憶というのはいわば「メモ帳」のような働きをする記憶です。長期記憶は、いわば「本棚」のような働きをします。本棚の奥に入っている本が、取り出しにくい(思い出しにくい)ことはありますが、消えることはありません。本当に覚えたい情報を長期記憶に入れるには、海馬に「これは重要な情報である」と思わせる必要があります。海馬の性質として、以下のような情報が重要だと見なされるようです。

- ・自分の感情が大きく動いた時の情報
- ・自分に関連する情報
- ・自分が思い出そうとしている情報
- ・繰り返された情報



記憶の性質として、自分の感情が大きく動かされたり、自分に関連していると覚えやすいというものがあります。また、その記憶を思い出そうとすると、「この記憶は実際

に使うから重要なのだ」と海馬が判断し、次から思い出しやすいようになります。そして最後に「繰り返す」ことによって海馬を説得することができます。定着させるためには繰り返すことが大切です。

また、校内模試・実力テストの結果を踏まえて、各学年主任から皆さんへのメッセージをいただきました。

【1学年主任より】「今こそ出発点」

人生とは毎日が訓練である わたくし自身の訓練の場である
 失敗もできる訓練の場である 生きているを喜ぶ訓練の場である
 今この幸せを喜ぶこともなくいつどこで幸せになれるか
 この喜びをもとに全力で進めよう
 わたくし自身の将来は今この瞬間にある
 今ここで頑張らずにいつ頑張る

大徳寺 尾関宗園

【2学年主任より】

「コロナに負けない」というフレーズを見た時に、何を頑張ろうと思えますか。受け身になることに慣れないで。自今で何かを取りに行くことを忘れずに。

【3学年主任より】

自今の弱点分野や、これまでの勉強方法の見直し、授業への取り組みなど、今回の結果をしっかりと分析して、受験対策に役立ててほしいと思います。校内模試は、受験問題に一番近い問題が出題されていますので、テスト直しノートの作成も確実に行ってください。

【大学受験について学ぼう】

《東北大学令和3年度入試における出題意図》

東北大学では「志願者のみなさまに学習上の参考としていただき、より高い学力の定着に役立つことを期待すべく、ここに、令和3年度入試における出題意図を公表します。」というようにホームページ上で出題意図を公表してくれています。問題に込められたメッセージを受け取り、日々の学習面に活かしていきましょう。以下に、国語・数学の2教科を一部抜粋して、引用したいと思います。

【国語・志願者へのメッセージ】

本試験では、国語の基本的な読解力と的確な表現力を身につけた学生の選抜を目指して作題しました。

それぞれの問題は、

- 1) 論理的な文章の内容と展開を正確に読み取る読解力
- 2) 文学的な文章の内容を正確に読み取る読解力
- 3) 古文と漢文に関する基礎的な知識と読解力
- 4) 定められた字数の中で要点を的確に説明する表現力

を評価する視点から作成しています。

現代文も古文・漢文も、本文の内容を正確に理解することが、何よりもまず求められる重要なことです。論理的な文章は、文章の構成や展開を意識しつつ、筆者の主張を捉えることが出来るようにしてほしいと思います。文学的な文章は、文章中の人物の心情やそれが描かれた状況を的確に押さえられるようにしてください。同時に正確に理解した本文の内容を、端的かつ的確に表現できる力を身に付けていただきたいと思います。また、古文・漢文は、本文の内容を正確に理解した上で、その内容を自然な現代日本語として捉え直す力も必要となります。テキストの細部を疎かにせず、言葉の意味や表現に即して文章をたどれるよう、国語力を培ってください。

【数学・志願者へのメッセージ】

数学はすべての理系科目の基礎となるだけでなく、理系・文系を問わず、すべての学問の研究・応用の基礎となっています。古代において計算、測量、暦法などのために生まれた数学は、生活に密接に関係した問題に答えるための「算法」でした。その後の数学を含めた文明の発展に従い、理論体系や推論が重視されるようになると、数学は生活の道具を超えて、知的文化の基礎的な位置を占めるようになりました。現代では、大学での教育・研究のみならず、社会や日常生活においても数学は有用です。しかし「役立つ」ことに捉われると大事なことが見失われます。本年度の数学の入試問題では、入学後に必要な、数学の基本の理解、推論と計算の力を確認する問題を出題しました。数学の教科書や参考書では、基本事項の説明に続き、問題の解き方が例示され、さらに自分で問題を解くという構成になっています。これは有用性と学びやすさを前面に出したのですが、他方では「公式を適用する」とか「解き方を学ぶ」ということに重点を置く態度を助長します。すると必ずしも数

学の理解を深めることにならないかも知れません。より根本的な理解をし、数学を自分のものとするためには、この概念や公式はなぜ必要か、この問題がなぜ解けるのか、または解けないのか、より一般的な考えや別の視点で説明できるか、といった視野の広い柔軟な考察が大事です。数学を理解し、また使うときに、それを表現する方法は推論によります。従って推論を記述する力により、理解度がよくわかります。問題を解くには計算が必要とされますが、そこで誤りが多い場合は、計算を軽視していることが原因かもしれません。また計算の確認の仕方にも理解度が反映します。知識よりもその活用が大切だという点で、すべての教科に共通するような、考え方、論理、記述力が、数学においては特に純粋な形で問われています。このように数学を学んでいくと、それを学問の基礎として会得できます。

いかがでしたか。次回以降、英語・理科・社会について記載したいと思います。気になる人は自分で東北大学のホームページや自分の志望する大学のホームページを見てみましょう。

【今後の進路行事について】

10月は模擬試験や職業講話・大学ドリーム講座といった進路関係の行事が多くあります。寒暖の差も激しくなる時期ですので、体調管理に気を付けながら、起床・家庭学習開始・就寝という1日の3つの節目を固定することで、安定した学習量を確保していきましょう。

- ・10月1/2日 第3回全統共テ模試(3年)
- ・10月9日 第2回ベネ駿記述模試(3年)
- ・10月14日 職業講話(1年)
- ・10月16日 第2回高2駿台模試(2年)
- ・10月22/23日 第3回全統記述模試(3年)
秋季難関大OP模試(3年)
- ・10月28日 大学ドリーム講座(1年)
- ・10月29/30日 第3回ベネ駿共テ模試(3年)



模擬試験の結果が返却される時期ですが、結果に一喜一憂せず。大切なことはここからどうするかです。挑戦する気持ちを持ち続けていこう。やればできる!